

介護保険施設等の整備（平成30年度～平成32年度）について

H32年度の待機者状況（見込み）

（第7期で施設の整備を行わなければ出現が予想される待機者数）

- 特別養護老人ホーム待機者数（見込み） 592人
534人（早期入所の必要性が高いと考える待機者（※））
× 1.108（要介護3～5の認定者の増加値）

（※） 居所が在宅又は医療機関の入所申込者のうち、要介護4・5の1年以内での入所希望者及び要介護3の3か月以内での入所希望者（H29.4.1現在）

$$\begin{aligned} & \underline{592人 - 239人（H29.4.1以降の開設予定施設等の定員数）} \\ & = \underline{353人} \end{aligned}$$



第7期計画期間の介護保険施設等整備数 計352床（339床）

（ ）は、第6期整備計画数

- 広域型特別養護老人ホーム 152床（140床）

新設	80床×1施設	= 80床
既存施設の増床		72床
- 地域密着型特別養護老人ホーム 116床（87床）

新設	29床×4施設	= 116床
----	---------	--------
- 介護老人保健施設 10床（49床）

既存施設の増床		10床
---------	--	-----
- 高齢者グループホーム 74床（63床）

新設	18床×3事業所	= 54床
既存事業所の増床		20床

- 上記以外に、施設・居住系サービスに代替し得るサービスとして、特定施設入居者生活介護や地域密着型サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護）の充実を図る。